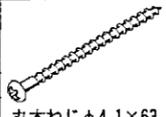
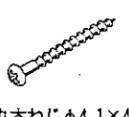


■お願い

- この説明書は、施工される方にお渡しください。
- 取付けねじは、必ず指定のものを使用し、完全に取り付けてください。
- 化粧額縁は、下枠下端より77mm出ますので現場の納まりに合わせて切断してください。
- 下枠には、ヒンジ垂れ下がり防止のためカイ物を必ず入れてください。

■取付けねじ一覧表

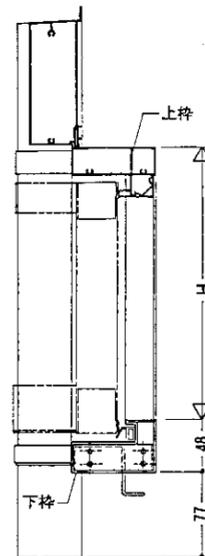
①	②
	
丸木ねじφ4.1×63	丸木ねじφ4.1×40

■開口部の作り方

- 開口寸法は、下表(製品基本寸法)をもとに決めてください。
- 下げ振りで前後・左右の狂いや柱同士のネジレなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。

■製品基本寸法 (単位mm)

H	全タイプ	2330
W	3.0尺	903
	4.5尺	1240
	4.5尺(入隅)	1138
	6.0尺	1692
	6.0尺(入隅)	1590

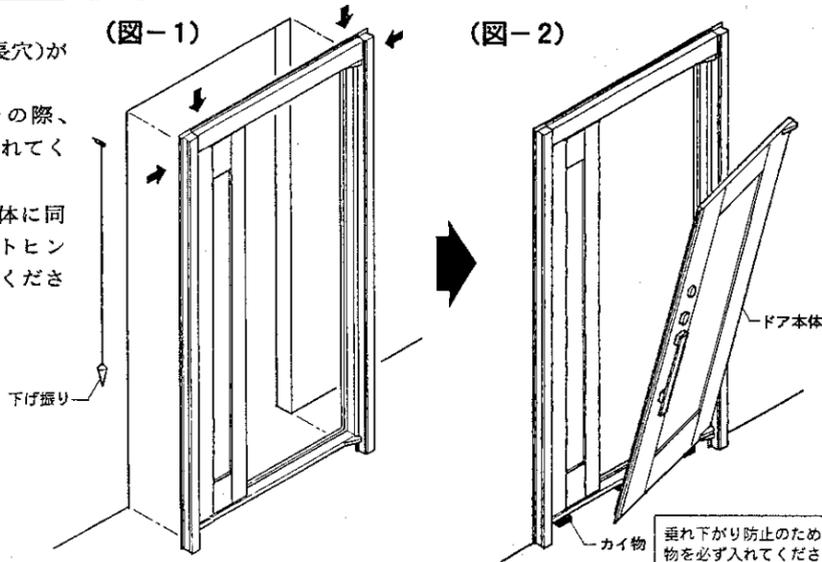


■コンクリート納まりの場合

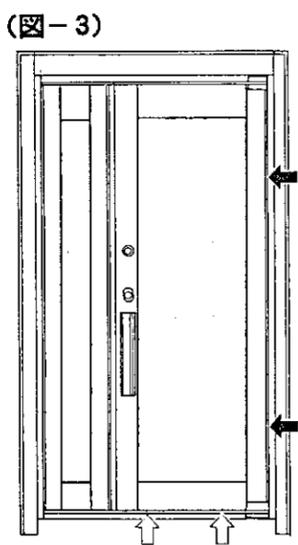
- アンカーは、DBHZ110(別売り)を使用します。

■躯体の取付けと透き間(チリ)の調整

- ① 枠を開口部に仮止めします。
→印個所に仮止め用の釘穴(長穴)があります。(図-1)
- ② 扉を枠につり込みます。その際、(図-2)のようにカイ物を入れてください。
※ピボットヒンジクローザ(本体に同梱)の取付け詳細は、ピボットヒンジクローザの説明書をご覧ください。

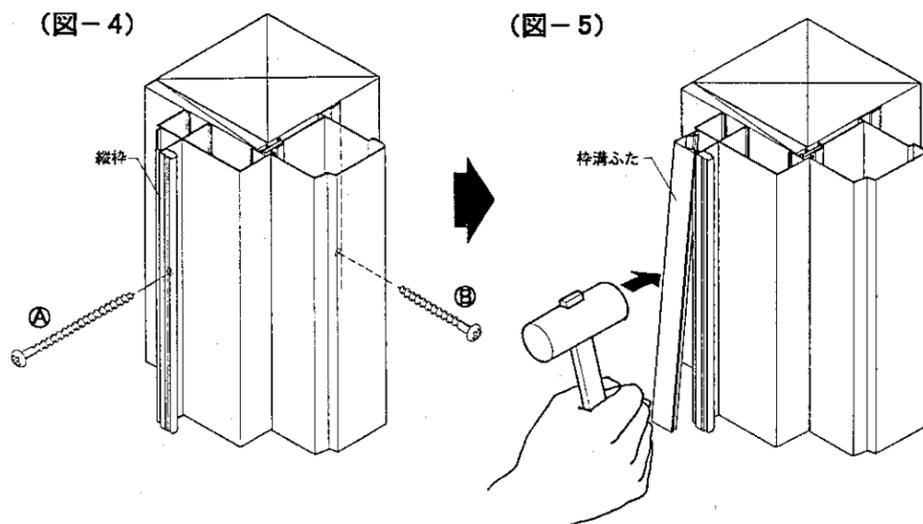


- ③ 上下(↑)及び、左右(→)の透き間を均等にし、戸当たりパッキングが扉と密着するように枠のネジレ・コロビを調整します。(図-3)

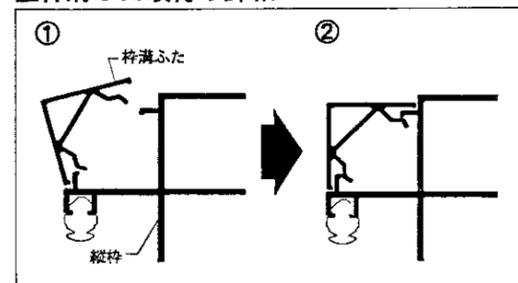


- ④ 取付け位置を調整します。ドアの開閉及び、施錠解錠がスムーズにできるか確認し、本固定します。(図-4)
- ⑤ 枠溝ふたの片側をはめ込み、木片等でたたいて入れてください。(図-5)

※枠溝ふたは、取り外しができるように両端に切欠きがあります。マイナスドライバーを使い、こじりながら取り外します。また、室内側額縁は、枠溝ふたの上にかからないように取り付けてください。

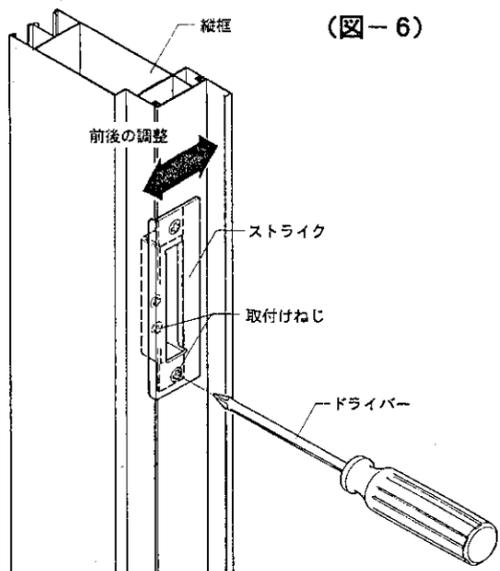


■枠溝ふた取付け詳細



■ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。(図-6)



■参考納まり図

